

2018年度 カリキュラムマップ(22E～19E生)

ダイプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①経済社会が抱える様々な課題に対する関心と問題意識を持つことができる。 ②経済学の基礎的専門知識や分析ツールを使いこなすことができる。 ③文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。 ④社会を洞察するための論理的思考力をつけ、因果関係の把握や費用便益の比較考量ができる。 ⑤政治・法律分野とのつながりを理解し、経済社会を多面的に捉えることができる。 ⑥自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。 ⑦経済社会の現実における課題を自ら発見し、経済学を基盤とした知識を実際の経済社会へ応用することができる。 ⑧建学の精神である「敬神愛人」に基づき、他者に対する温かいまなざしを持って社会で活動することができる。 ⑨より良き経済人として、経済社会のルールを順守する倫理観を持つことができる。 ⑩地域社会の求めることを的確に把握し、課題解決に向けて意欲と責任感をもって貢献していくことができる。	【注】 *1：簡潔に4行以内でおさめる *2：DPとの対応関係を◎、○で表す DPと強く関連する項目は○ *3：ALはアクティブラーニングを意味する 授業15回中ALゼロは空白、1～5回は△、 6～10回は○、11～15回は◎を記入する
	【思考力・判断力・表現力】		
	【主体性・多様性・協働性】		

分野	新科目名	単位数 必 選	年 次	科目概要(*1)	カリキュラム・マップ (*2)										AL (*3)	担当教員	科目ナンバリング	
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
学科 基幹 科目 (必修)	ミクロ経済学入門	2	1	経済活動を行う個別の経済単位である消費者(家計)や生産者(企業)の需要・供給行動とともに、市場での交換を通じて決まる取引量や価格の決定メカニズムを学ぶ。	○	◎	○	◎	○								上山・佐々木・佐藤・大石・小出	EK1101
	マクロ経済学入門	2	1	GDPや物価指数などマクロ経済の動きを見る上で不可欠な指標を理解し、それらが実際どのように動いているのかを学ぶ。	○	◎	○	◎	○								秋山・木船・黒田・菅原・野村	EK1102
	専門基礎演習	4	2	3年次以降の専門演習での研究活動に備え、社会への問題意識を抱き、その解決策を模索する訓練を行う。	○	◎	◎	○								△	秋山・阿部・飯島・家本・伊沢・上山・大石・荻原・河原林・木船・児島・小林・佐々木・佐藤・菅原・野村・早川・松原・松本・水田	EK2101
	専門演習	#	3・4	各自が研究テーマを設定したうえで、3年で研究報告書、4年で卒業論文を作成することを最終目的とする。	◎			◎	○	◎	◎					△	秋山・阿部・飯島・家本・伊沢・上山・大石・荻原・河原林・木船・児島・小林・佐々木・佐藤・菅原・野村・松原・松本・水田	EK3101 EK4101
学科 基幹 科目 (選択)	統計学入門	2	1	度分布を理解し、平均、分散、標準偏差等を計算できるようにする。基本的な連続型確率変数として、正規分布を説明する。 基礎的な統計量を適切に理解し、統計ツールを用いて経済・社会の動きの特徴を捉えられるようにする。			○	◎	○								野村 上山	EK1301
	経済史入門	2	1	「歴史的事象を経済学的に理解すること」を通して「資本主義システムの成立過程と特質を解明すること」が目的である。	○	○	○	◎	◎								河原林	EK1302
	日本経済入門	2	1	戦後日本経済が迎ってきた大まかな歴史を、復興期、高度成長期、安定成長期、バブル崩壊以降の4期に分けて学び、現在の日本経済がいかにして成立してきたのかについて理解する。 現在、日本経済が抱えている諸問題を統計データをベースに歴史的視点で解説し、経済学え物事を見る眼を養うことを主たる目的とする。	○			○	◎	○	○						阿部 大石	EK1303
	経済数学入門	2	1	経済理論で使用される数学の基礎知識を習得させ、スムーズに上位科目の「経済数学」に進ませ、もって中級レベルまでの文献を読み通すのに十分な数学知識を身につけてもらうことを意図している。			◎		○		○						小出	EK1304
	財政学入門	2	2	わが国の財政の現状とその問題点を理解する。課税の経済効果や望ましい課税に求められる原則について理解する。我が国の年金制度の直面する問題点の理解を深める。	◎	◎		◎	○								水田	EK2301
	金融論入門	2	2	現実の金融諸問題についての理解を深めるために、初級レベルとしての金融理論及び分析手法や実践的金融知識を習得する。特にマクロ金融に関連したテーマを扱う。	○	◎		○		○	◎						小林・松原	EK2302
	国際経済学入門	2	2	比較優位に基づく自由貿易の利益と保護主義による社会的損失を理解する。また国境を越える取引を総括した国際収支表の理解を通じて貿易黒字・赤字の真の意味を理解できるようにする。	○	◎	◎	◎			○						伊沢	EK2303
	デジタルプレゼンテーション	2	1	ノートパソコンによるプレゼンソフトの実習で、コミュニケーション能力を養う。聴衆の興味を引く、効果的なプレゼンができるスキルを身につける。				○		◎		○					児島(インストラクター)	EK1305
	データ表現技法	2	1	表計算ソフトの実習で経済学に必要なグラフの作成スキルを習得する。データに適した分かりやすいグラフを作成できる能力を養成する。			○	◎			○						児島(インストラクター)	EK1306
	アカデミックスキルズ	2	3	卒業研究や卒業論文を進める際に最低限必要なスキル(資料調査・プレゼン・文章作成など)を身につけ、他の学生にも教えられるようにする。			○	○			◎	○					児島	EK3301
	経済テーマ演習	2	3	eラーニング教材「経済学コア6」の学習内容を振り返り、経済学の課題発見とその解決方法の理解を深め、卒業研究を進める際に役立つ。	◎	○		○	○		○						児島	EK3302
	統計学	統計学	2	2	正規分布・平均等の推定量の標本分布・区間推定・仮説検定について理解して、統計値の計算を行って演習を行う。 クロス分析や回帰分析を中心に、より高度な分析ツールを用い、経済・社会の動きの特徴を捉えられるようにする。			○	◎	○								野村 上山
経済数学		2	2	中級レベルの経済学に登場する数学のうち、微分法について、応用上最も重要な部分について講義する。特に、ラグランジュ乗数法について深い数学的理解をえることを目的とする。			◎		○		○						小出	EK2305
ミクロ経済学1		2	2	中級ミクロ経済理論のうち、完全競争市場を前提とするものとして、消費者行動理論・生産者行動理論・一般均衡理論の3つを学ぶ。			○		◎	○	○	○					小出・佐藤	EK2306
ミクロ経済学2		2	2	中級ミクロ経済理論のうち、不完全競争市場に関するものとして、ゲーム理論の応用・情報の経済学・独占市場の理論の3つを学ぶ。			○		◎	○	○	○					佐藤	EK2307

2018年度 カリキュラムマップ(22E～19E生)

ディプロマ・ポリシー	<p>【知識・技能】①経済社会が抱える様々な課題に対する関心と問題意識を持つことができる。</p> <p>②経済学の基礎的専門知識や分析ツールを使いこなすことができる。</p> <p>③文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。</p> <p>④社会を洞察するための論理的思考力をつけ、因果関係の把握や費用便益の比較考量ができる。</p> <p>⑤政治・法律分野とのつながりを理解し、経済社会を多面的に捉えることができる。</p> <p>⑥自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。</p> <p>⑦経済社会の現実における課題を自ら発見し、経済学を基盤とした知識を実際の経済社会へ応用することができる。</p> <p>【主体性・多様性・協働性】⑧建学の精神である「敬神愛人」に基づき、他者に対する温かいまなざしを持って社会で活動することができる。</p> <p>⑨より良き経済人として、経済社会のルールを順守する倫理観を持つことができる。</p> <p>⑩地域社会の求めることを的確に把握し、課題解決に向けて意欲と責任感をもって貢献していくことができる。</p>	<p>【注】</p> <p>*1: 簡潔に4行以内でおさめる</p> <p>*2: DPとの対応関係を◎、○で表す DPと強く関連する項目は◎、関連する項目は○</p> <p>*3: ALはアクティブラーニングを意味する 授業15回中ALゼロは空白、1～5回は△、 6～10回は○、11～15回は◎を記入する</p>
------------	---	--

分野	新科目名	単位数	年次	科目概要(*1)	カリキュラム・マップ(*2)										AL(*3)	担当教員	科目ナンバリング	
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
経済理論と情報	マクロ経済学1	2	2	「マクロ経済学入門」で学習した内容をさらに進め、基本的なマクロ経済学体系を学習しながら、最終的にはIS-LM分析を習得することを目的とする。	○	◎		○	○		○						阿部	EK2308
				「マクロ経済学入門」で学習した内容をさらに進め、基本的なマクロ経済学体系を学習しながら、基本的な経済成長理論を理解することを目的とする。	○	◎	○	○									菅原	
	マクロ経済学2	2	2	「マクロ経済学1」で習得したIS-LM分析の知識を土台としながら、AD-ASモデルと景気循環や経済成長の理論を学ぶ。	○	◎		○	○		○						阿部	EK2309
				マクロ経済理論を学習するし、それを応用して、社会の経済現象を理解し、説明する力を養う。	◎	◎		◎	○		○						秋山	
	計量経済学	2	2	データを用いて最小2乗推定量を計算する。最小2乗推定量、仮説検定等の回帰分析の結果を理解する。		○	◎		○								野村	EK2310
	経済データ分析		2	2	経済分析に必要な基本統計量から相関・回帰分析(最小二乗法)までをデータで計算しながら、基本概念と処理方法を理解する。		◎	○						○			児島	EK2311
					データの要約、相関係数、最小2乗法や仮説検定の回帰分析を理解する。パソコンで回帰分析等の計量経済学的分析を行う。		○	◎		○	○						野村	
	経済学史		2	3														<不開講>
政治経済学		2	3	歴史的な視点から資本主義経済の特徴と現状について学び、その関連で経済学の歴史についても触れる。現代の様々な問題を、資本主義経済の特徴からより深く捉えることができるようになる。	◎	○			◎		○	○		○		阿部	EK3304	
現代経済学		2	2	論理的思考力、基本的なデータ分析手法を実践を通じて身に付ける。	◎	◎	◎	◎							◎	秋山	EK2312	
経済学特殊講義		2	1	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	◎	◎				◎	◎			◎	秋山他・佐々木他	EK1307	
応用経済と経済政策	財政学	2	2	家計における消費者、企業における労働者として、政策が経済・社会に与える影響を判断する一助となるよう、財政学における主要トピックスを理論的な側面から検討する。	◎	○		◎			◎		○			酒井愛	EK2313	
	金融論	2	2	現実の金融諸問題についての理解を深めるために、中級レベルとしての金融理論及び分析手法や実際の金融知識を習得する。特に金融システムに関連したテーマを扱う。	○	◎		○	○	◎						小林・松原	EK2314	
	国際経済学	2	2	国際分業の理解を深める。WTOの下での貿易政策のケーススタディを行う。金融政策と為替レートの関係を学ぶ。	○	◎		○	○							黒田	EK2315	
	経済政策論	2	2	市場メカニズムを中心に営まれる経済において、政府の公共政策が果たすべき役割と意義、ならびにその機能を、厚生経済学、公共経済学の理論的基礎に立って、体系的な理解を得ることを目的とする。	◎	◎		○			◎					水田	EK2316	
	産業組織論	2	3	産業組織論のアプローチを身につけることとともに、特に企業に焦点をあてて、様々な戦略行動の経済学的解釈を理解することを目的とする。	○	◎	○	○	○							大石	EK3305	
	企業経済論	2	3	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	◎	◎			◎	◎				◎	上山他・大石他	EK3306	
	労働経済学	2	2	現代社会に幅広く存在する労働問題をデータを基にして理解し、経済学のツールを用いて解決策を自ら導くことができることを目的とする。	◎	○	○	○			○				△	菅原	EK2317	
	公共経済学	2	3	市場の機能と政府の役割、公共財の理論、最適公共支出の決定、外部性による市場の失敗と外部性の内部化、自然独占市場とその公的規制などについて理解を深める。	◎	◎		○			◎					水田	EK3307	
	都市経済学	2	3	名古屋を分析事例として、地域の基礎的分析方法、都市と地方の対立構造、地域戦略の考え方を理解できる。	◎				○		○			◎		江口	EK3308	
	都市政策論	2	3	都市政策について、基礎編では、都市の取り巻く今日的な環境を踏まえた、その構成要素の解説、実践編では実例を通じて理論的枠組みを理解する。	◎			◎						○		井澤	EK3309	
	現代ファイナンス	2	3														<不開講>	EK3310

2018年度 カリキュラムマップ(22E～19E生)

ディプロマ・ポリシー	<p>【知識・技能】①経済社会が抱える様々な課題に対する関心と問題意識を持つことができる。</p> <p>②経済学の基礎的専門知識や分析ツールを使いこなすことができる。</p> <p>③文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。</p> <p>④社会を洞察するための論理的思考力をつけ、因果関係の把握や費用便益の比較考量ができる。</p> <p>⑤政治・法律分野とのつながりを理解し、経済社会を多面的に捉えることができる。</p> <p>⑥自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。</p> <p>⑦経済社会の現実における課題を自ら発見し、経済学を基盤とした知識を実際の経済社会へ応用することができる。</p> <p>⑧建学の精神である「敬神愛人」に基づき、他者に対する温かいまなざしを持って社会で活動することができる。</p> <p>⑨より良き経済人として、経済社会のルールを順守する倫理観を持つことができる。</p> <p>⑩地域社会の求めることを的確に把握し、課題解決に向けて意欲と責任感をもって貢献していくことができる。</p>	<p>【注】</p> <p>*1: 簡潔に4行以内でおさめる</p> <p>*2: DPとの対応関係を◎、○で表す DPと強く関連する項目は◎、関連する項目は○</p> <p>*3: ALはアクティブラーニングを意味する 授業15回中ALゼロは空白、1～5回は△、6～10回は○、11～15回は◎を記入する</p>
------------	--	---

分野	新科目名	単位数	年次	科目概要(*1)	カリキュラム・マップ(*2)										AL(*3)	担当教員	科目ナンバリング	
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
学科展開科目	国際金融論	2	3	外国為替の仕組みや役割を学びながら最近までの国際金融の動きや変化を捉える。	○	◎		○	○	◎							小林	EK3311
	地方財政論	2	3	地方財政の制度・現状を概観するとともに、地方分権や自治体間の財政力格差等を学び、自治体の一構成員として地方財政が抱える諸問題を考えるためのツールを学ぶ。	◎	○		◎		◎			○				酒井愛	EK3312
	社会保障論	2	3	社会保障の必要性および歴史と理念、制度と機能、現状と課題を概観し、医療保障・所得保障・介護保障の現状と課題について理解を深めることができる。	◎			○	○	◎		○					村上	EK3313
	資源経済学	2	2	天然資源に共通する経済理論および市場特性を中心に講義する。資源量評価、価格形成、市場構造、資源と経済発展などがテーマである。	◎	◎			◎		○		○		△		木船	EK2318
	資源・エネルギー政策	2	3	現代社会に不可欠なエネルギーを取巻く課題と政策が主題である。基礎知識、エネルギーと経済、国際市場、固有の政策などを扱う。	◎	◎			◎		○		○		△		木船	EK3314
	環境経済学	2	2	環境問題の経済理論的説明ができるようになり、経済成長と環境保全のトレード・オフ、およびその切り離しを理解すること。	◎	○		◎		◎		○					佐々木	EK2319
各国経済と歴史	エコロジー経済論	2	3	人類が地球という星で経済活動をする際に直面する生態学的、物理的諸制約を理解すること。	○			○			◎		◎	○			佐々木	EK3315
	経済史	2	2	アジアとヨーロッパ間における経済的関係の形成過程を通して、国際関係・秩序の構造と論理を理解すること。	◎	◎	○	◎	◎		○						河原林	EK2320
	経済社会学	2	2	経済学と社会学の学際的分野である経済社会学における理論と分析事例を検討し、経済社会現象をより広い視点から総合的に理解できる。	◎	○		◎		◎			○				村上	EK2321
	比較経済論	2	2	資本主義体制とは異なる社会主義体制の基本性格と特徴を旧ソ連邦・東欧諸国の具体事例に基づき説明し、体制比較の重要性を明らかにする。	◎	○		◎	◎				○				家本	EK2322
	日本史概論	2	1	日本の歴史を、特に体制や政権の成立・展開・衰退の過程に重点を置いて考え、歴史文脈における因果関係を考察する。				○	◎		○						鹿毛	EQ1401
	現代日本経済史		2	2	戦後日本経済を6つの時代に分け、各時代における経済トピックを解説するとともに、その時代の政策当局が何をを行い、行わなかったのかを理解することが目的である。				○		◎		○				大石	EK2323
					明治・大正・昭和の経済の発展過程を、明治国家の軍国設計とその現代化との関連で明らかにする。	○			◎	◎		○				笠井		
	日本経済論	2	2	戦後日本の経済を戦後改革、朝鮮戦争、高度成長、70年代以降の外的ショックと対応の時期で説明する。	○			◎	◎		○						笠井	EK2324
	外国史概論	2	1	ヨーロッパ中世文明とイスラム文明の融合、ルンサンズ宗教改革、市場経済の成立とそのグローバル化主権国民国家の理解を目指す。	◎	○		○					○	○			名城	EQ1402
	西洋経済史	2	2	ヨーロッパ中世商業革命・市場経済システム、主権国民国家・市民革命・産業革命、グローバリゼーション、勢力均衡、ドイツ国民国家の理解を目指す。	○	○		◎	◎				○				名城	EK2325
	欧米経済論	2	3	第二次大戦後の欧州の分裂と統合の過程を説明し、統一欧州経済圏の目的と意義を明らかにすると共に、日米欧の経済関係の変遷を明らかにする。	◎	○	○	◎	◎								家本	EK3316
	人文地理学概論	2	2	世界の各地域において経済、社会、政治、文化など人間が行っている活動が、その地域の環境条件に適合しながらいかなる空間的プロセスを経たどのようなパターンを示すかを明らかにする。	◎		◎		○		◎		◎	△			林上	EQ2401
	自然地理学概論	2	2	世界の多様な地形の発達過程について学ぶ、そしてそれらの地形と、生活様式・災害・文化との関係について理解する。				◎	◎		○			○			古川	EQ2402
	開発経済学	2	3	現在も問題視され続けている経済格差・貧困をもたらす要因・背景を明らかにして、その対策を考えることが目的である。	◎	◎	○	◎	◎								河原林・史	EK3317
地誌学概論	2	2	地球上のある地域において、経済、社会などの人間活動が互いに関連をもちながら、いかなる空間的パターンを示すかを多面的に考察し、その地域の個性を生み出しているかを明らかにする。	◎		◎		○		◎		◎	△			林上	EQ2403	
経済英語	2	2	身近な世界企業の成功と失敗の歴史と現状について英語を通じて具体例を学習する。これにより企業が抱える問題を理解し、また英語のコミュニケーション能力を養う。	◎					◎	○		○				荒木	EK2326	

2018年度 カリキュラムマップ(22E～19E生)

【知識・技能】	①経済社会が抱える様々な課題に対する関心と問題意識を持つことができる。 ②経済学の基礎的専門知識や分析ツールを使いこなすことができる。 ③文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。	【注】 *1: 簡潔に4行以内でおさめる *2: DPとの対応関係を◎、○で表す DPと強く関連する項目は◎、関連する項目は○ *3: ALはアクティブラーニングを意味する 授業15回中ALゼロは空白、1～5回は△、 6～10回は○、11～15回は◎を記入する
【思考力・判断力・表現力】	④社会を洞察するための論理的思考力をつけ、因果関係の把握や費用便益の比較考量ができる。 ⑤政治・法律分野とのつながりを理解し、経済社会を多面的に捉えることができる。 ⑥自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。 ⑦経済社会の現実における課題を自ら発見し、経済学を基盤とした知識を実際の経済社会へ応用することができる。	
【主体性・多様性・協働性】	⑧建学の精神である「敬神愛人」に基づき、他者に対する温かいまなざしを持って社会で活動することができる。 ⑨より良き経済人として、経済社会のルールを順守する倫理観を持つことができる。 ⑩地域社会の求めることを的確に把握し、課題解決に向けて意欲と責任感をもって貢献していくことができる。	

分野	新科目名	単位数 必 選	年 次	科目概要(*1)	カリキュラム・マップ(*2)										AL (*3)	担当教員	科目ナンバリング		
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩					
法制度と公共政策	法学概論	2	2	私たちが「モノ」を買う、車を運転する、好きな人と結婚する、親から財産を相続するなどといった日常生活での通常の行為と密接な関係にある「法」について学ぶ。	◎				○	◎	○							飯島	EK2327
	憲法	2	2	「国の最高法規」「国の基本法」である憲法が制定された背景と意義、現代社会における憲法論議について学ぶ。	◎				○	◎	○							飯島	EK2328
	民法	2	2	私法の一般法である民法を学ぶ。講義では総則・物権・債権を中心に解説し、経済社会で不可欠な契約や不法行為に対する法的思考を養うことを目的とする。	○							◎		◎	○			川村	EK2329
	商法	2	2															<不開講>	EK2330
	会社法	2	2															<不開講>	EK2331
	行政法	2	2	出生・婚姻・家の新築や増改築・公的施設利用・保育所への入所・公立学校教員による体罰や学校事故・生活保護や介護保険・税金など、私たちの生活に関わる「行政」に関する法について学ぶ。	◎				○	◎	○							飯島	EK2332
	行政学	2	2	多様な行政サービスの提供など、私たちの生活に大きな影響を与えている行政の役割と活動、仕組みを理解するとともに、行政を観察し、分析する学問である行政学の基礎理論を学ぶ。	◎		○	○	◎						○			野口	EK2333
	政治理論1	2	2	古代から近代前半の政治思想を対象に、政治社会の善と正義とはなにかを原理的(概念的に)考えることができるようになる。						◎	◎	◎	○		○		△	荻原	EK2334
	政治理論2	2	2	近代後半から現代の政治思想を対象に、政治社会の善と正義とはなにかを原理的(概念的に)考えることができるようになる。						◎	◎	◎	○		○		△	荻原	EK2335
	地域政策概論	2	1															<不開講>	EK1308
	まちづくり政策論	2	3															<不開講>	EK3318
	地域活性化研究1	4	2	社会や地域での課題等をテーマ設定し、フィールドワークや社会調査、PBLを活用して、半期開講の課題解決型演習科目として実践的知識の習得を目指す。									○	○	○	◎	◎	水野	EK2336
地域活性化研究2	4	3															<不開講>	EK3319	
キャリア	現代経済事情	2	1	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	◎	◎					◎	◎			◎	秋山他・佐藤他	EK1309	
	企業研究1	2	2														<不開講>	EK2337	
	企業研究2	2	2	鉄鋼、アルミ、自動車、食品、銀行、証券、病院、行政、まちづくりなど、名古屋圏の産業と経営をめぐる現場の実情と課題について、経営者や専門家からホットな講義を受ける。	○		○				◎	◎			◎		十名・笠井・阿部・上山他	EK2338	
	企業経営特殊講義	2	2	人工知能など技術の高度化、経済のサービス化、そして環境破壊が進むなか、ものづくりを軸に現代の産業と地域のあり方を深く問い直す。ものづくり経済学の講義は、全国唯一とみられる。					◎		○	◎		○	◎		十名	EK2339	
	公共政策演習1	2	1	公務員志望の学生に対して、公務員となるために身につけなければならない必要最小限の知識の修得と論理的思考力を高めるために、特に憲法をテーマに演習問題を中心に行う。							○			◎	○		大石(インストラクター)	EK1310	
	公共政策演習2	2	1	公務員志望の学生に対して、公務員となるために身につけなければならない必要最小限の知識の修得と論理的思考力を高めるために、特に民法をテーマに演習問題を中心に行う。							○			◎	○		大石(インストラクター)	EK1311	
	留学	国際理解1～12	2	1	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。										◎	◎	◎	野村	EK1601～1612
院	上級経済学1～4	2	4	3年修了時点で、累積GPA2.70以上、総修得単位100単位以上の学生に限って、大学院開講科目の受講を認める。	○	○	○								◎		大学院担当教員	EK5601～5604	